

コミュニティ・スクールの運営を より良くしていくために ～CSポートフォリオ診断のご案内～

【目次】

【CSをより良くしていく中での 悩み 】	2
【CSポートフォリオによる 診断 って?】	3
【CSポートフォリオ診断実施後の 現場の声 】	4
【CSポートフォリオ診断の 実施 に向けて】	5
【CSポートフォリオ診断 各タイプ の紹介】	7



～はじめに～

文部科学省委託事業「地域と学校の新たな協働体制の構築のための実証研究」では、コミュニティ・スクール（以下、CSと表記 ※）の関係者がCSの運営をより良くしていくための診断ツールとして、CSポートフォリオの開発を試みてきました。

本実証研究において、全国の教育委員会やCS導入校にアンケート・インタビューをお願いする中で、CS導入後に一定期間が経過し「効果は出ているのだろうか」「改善すべき点はどこにあるのだろうか」といった自律的な改善に係る悩みが多く聞かれました。

こうした現場の悩みに対し、解決の一助になればと、このCSポートフォリオによる診断を設計してきました。

その後、実際にCSポートフォリオによる診断を行うことで、CSの行動改善につながる一手を生み出す教育委員会や学校も出てくるなど、一定の手ごたえを感じています。

一方で、CSポートフォリオによる診断を行うには、相当の労力が必要であり、それが導入のハードルになっていました。

そこで、診断に係る作業負荷の軽重が異なる3つのタイプのポートフォリオを用意いたしました。

CSポートフォリオを用いた診断により、全国各地のCSの運営をより良くするための気づきや一手が得られることや、学校評価にも活用いただくことで効果的な学校運営につながると考えています。

本資料では、「CSポートフォリオ診断とは何か？どんな気づきが得られるのか」「問題意識や実施負荷に合うポートフォリオをどう選んだらよいのか？」といったCSポートフォリオ診断実施前の検討に係るご案内をしていきます。

令和5年3月

文部科学省総合教育研究政策局
地域学校協働活動推進室

※本資料では、法律（地教行法第47条の5）に基づいて教育委員会が学校に設置する学校運営協議会および学校運営協議会が置かれた学校をコミュニティ・スクール（以下、CS）と表記しています。



【CSをより良くしていく中での悩み】

■CSの運営における悩み

全国の公立学校でのCS導入率は42.9%（令和4年度）まで広がってきていますが、CS導入後の教育委員会や学校では、このような悩みが良く聞かれます。



CS導入校
校長

- ・CSを導入したものの、学校運営協議会の運営は手探り。
はたして**効果的に運営**できているのだろうか？
- ・協議会での議論を学校運営に活かすには**どんな工夫**ができるのだろうか？

- ・CSの導入目的に対して、現在のCSの運営はきちんと**効果**を発揮できているの？
- ・各CSの状況に応じた個別最適な**支援をどのように展開**していけばよいの？



CS導入
教育委員会

【そんな時に CSポートフォリオ による診断】

CS導入後にこのような悩みを抱えたときに、**自校（所管校）のCSの状態を自己診断し、より良いCSにしていくために気づきを得るツールとしてCSポートフォリオを開発しました。**

「ポートフォリオ」と聞くと、児童・生徒の学習経過や成果を整理・評価する際に用いられたりしますが、CSポートフォリオも同様です。

CSの協議や活動の状態や、そこから得られているであろう成果について、関係者が振り返りをしやすいように一覽的に整理するものです。

次頁以降では、CS導入校の校長やCS導入教育委員会等の協力をいただいて作成したCSポートフォリオを使った診断の内容をご紹介します。

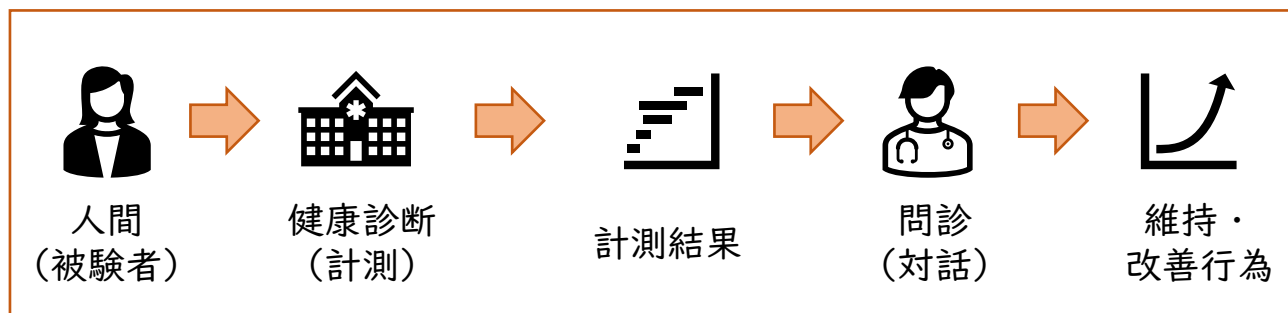


【CSポートフォリオによる診断って?】

CSポートフォリオによる診断をイメージするために、まず、私たち人間の健康診断をイメージしてみましょう。

【健康診断】

労働者の場合は年1回の健康診断が義務付けられていますが、健康診断では事前に日々の習慣をチェックしたうえで健診機関を訪問し、様々なデータを計測し、その計測結果が数値で示されます。その結果を持って、医師の問診を受け、自身の習慣や認識（具合の悪いところの自己認識等）とすり合わせて、維持・改善すべきポイントを見出そうとします。



【CSポートフォリオによる診断】

CSポートフォリオによる診断のコンセプトは健康診断と同様です。まず、CS関係者に対するアンケートで、CSに係る様々な意識や状態をチェックし、その計測結果をポートフォリオとして数値で示します。その結果を持って、学校運営協議会等で熟議・対話を行い、関係者の課題感等とすり合わせて、維持・改善すべきポイントを効率的に見出すものです。



CSポートフォリオによる診断のポイントは「CSの良し悪しを評価するものではなく、状態や課題、成果実感等の関係者の認識を確認し、維持・改善のホットスポットを抽出するものである」ということです。

※身体に個人差と同様に、学校や教育委員会にも地域差（固有性）があります。関係者の認識が数値化・図示されることで「自分たちの理想に対して、どこを改善したいか」を主体的に考えやすくなり、CSの熟議・対話をより建設的にする効果が期待できます。



【CSポートフォリオ診断実施後の現場の声】

< A 教育委員会のケース >




- ★状況：人口10万人の市で、設置校全校にCSを導入
- ★悩み：CS導入の狙いである「授業力向上」や「生徒指導の充実」への寄与が得られているのか分からないまま数年経過。
- ★目的：CS導入の効果を確認しようとCSポートフォリオ診断を実施

診断の結果、一部の学校では期待した傾向がみられました。

各校の校長にヒアリングをしてみると右のような取り組みが寄与しているのではとの声がありました。

- ◎学校運営協議会の協議結果をすぐに教員へ周知・還元している。
- ◎学校運営協議会に担当教員以外（学年主任等）も適時参加し、課題の説明や協議を直接行っている。
- ◎協議会委員に対し、授業を積極的に公開（見学促進）し、生徒の実態を知ってもらうようにしている。

 そこで、期待どおりの傾向がみられていなかった学校に対して、CS運営上の具体的な工夫点として、これらの取組を助言することができました。

< B 小学校（学校運営協議会）のケース >



- ★状況：中心市街地にある全校生徒400名の中規模小学校。
- ★悩み：CS導入3年が経過するが、教員の協力・関心がなかなか得られず、協議会の雰囲気も低調。今後の運営方法を模索中。
- ★目的：自校のCSの状態を見るためにCSポートフォリオ診断を実施

診断結果を見ると、他地域の傾向に比べ、教職員の「協議会に対する意識」が低く、その理由を探るため、関係者に聞いてみたところ、



教頭
(CS担当)


教員の負担になると思い、あえて情報提供していなかったんです。



教員

協議会の情報が欲しかったがもらえておらず、協議会のことが良く分からずにいました

と、これまでお互いに慮っていた配慮が、逆にCSの効果を発現しにくくしているのではという気づきがありました。

 認識の相違が確認できたことで、今後は教頭から「協議結果をすぐに教員へ周知・還元しよう！」となり、一つの主体的な改善が図られました。



【CSポートフォリオによる診断の**実施**に向けて】

【ニーズにあわせて**3**タイプから選択できます】

CSポートフォリオによる診断を行うには、関係者に対するアンケートを実施する必要があり、一定の手間がかかります。

そこで、かける手間の大きさに応じて3つのタイプを用意しています。
(かける手間と診断で把握できることは比例関係にあります。)

各教育委員会、各校の診断ニーズにあわせ、以下の3タイプ（チェックシートと2種類のポートフォリオ）から選択していただくことができます。

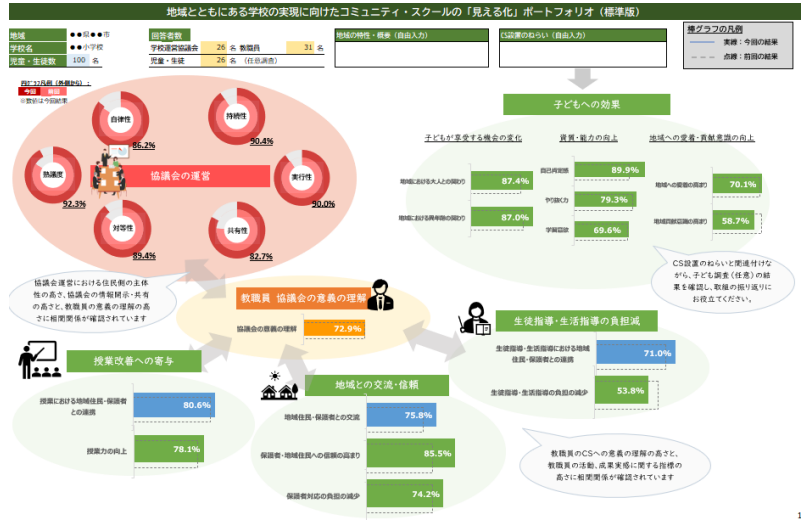
	CSの運営に関する チェックシート	CSポートフォリオ (標準版)	CSポートフォリオ (詳細版)
主な用途	協議会委員の気づきや行動変容のきっかけを探る「お試し版」	主に委員と教職員の視点から学校運営の改善点を探る	CSに関わる各主体の状態や成果実感を測定し、改善点を探る
調査対象	1主体	3主体	5主体
委員	○	○	○
教職員	—	○	○
児童・生徒	—	△ (選択)	○
地域	—	—	○
保護者	—	—	○
調査項目	協議会運営の状態に関する重要指標	学校運営・ガバナンスに係る指標	CSに期待される成果や状態に係る指標
協議会運営の状態	△ (一部指標抽出)	○	○
関係者の意識・活動及び成果実感	—	△ (教職員のみ) (一部指標抽出)	○
児童・生徒の認識・状態	—	△ 一部指標抽出	○
指標数	計15指標	計74指標	計177指標



【CSポートフォリオ診断各タイプ】の紹介

➡ 【CSポートフォリオ（標準版）】を使うなら

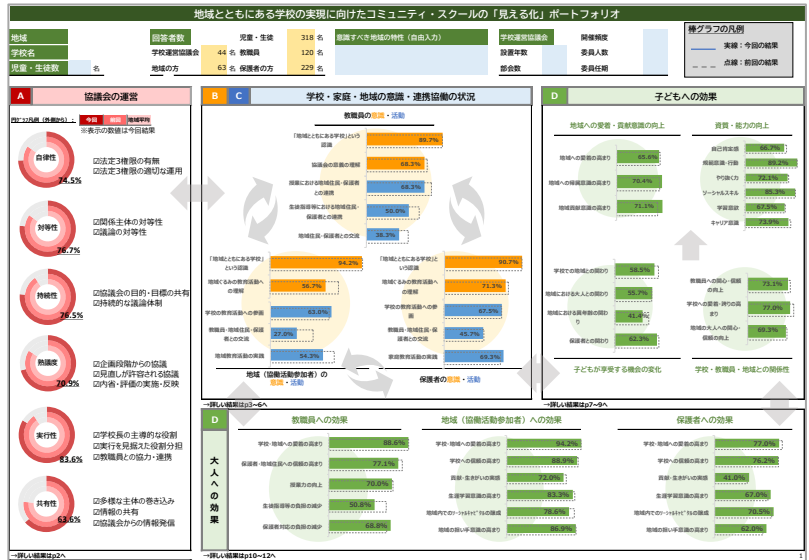
CSポートフォリオの標準版です。文部科学省のウェブサイトから実施の手引きをダウンロードできますので、手引きに沿って実施してください。



(<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/cs.html>)

➡ 【CSポートフォリオ（詳細版）】を使うなら

CSポートフォリオの詳細版です。こちらも文部科学省のウェブサイトから実施の手引きをダウンロードできますので、手引きに沿って実施してください。



(<https://manabi-mirai.mext.go.jp/torikumi/chiiki-gakko/cs.html>)

